

# 教職課程

## 1. 教職課程について

卒業後、教育職員を志望するものは、「教育職員免許法」に定める教育職員免許状を取得する必要があります。そのためには、卒業に必要な所定の単位を修得するとともに、所要条件を満たし、かつ所定の単位修得し、申請することが必要になります。

## 2. 修得できる免許状について

教職課程を履修し、卒業と同時に申請し修得できる免許状は、下記のとおりです。

コース	免許状の種類	免許教科	対象学科
数学コース	中学校教諭一種免許状	数学	機械工学科
	高等学校教諭一種免許状		機械システム工学科
工業コース	高等学校教諭一種免許状	工業	電気電子工学科 建築学科

## 3. 教職課程の科目区分・必要単位数

教職課程科目は、【教員免許修得のための必修科目】【教育の基礎的理解に関する科目等】【教科及び教科の指導法に関する科目】に大別され、それぞれの必要単位数は、下記のとおりになります。

教職課程科目の科目区分と必要単位数

(数字は単位数)

コース	教員免許修得のための必修科目 (教育職員免許法施行規則第66条の6)	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科及び教科の指 導法に関する科目
数学コース	10単位 【表1】	中学 30単位※ 【表2-1】	中学 36単位 【表2-2】
		高校 26単位 【表2-1】	高校 40単位 【表2-3】
工業コース		高校 26単位 【表3-1】	高校 40単位 【表3-2】

※「数学コース」履修者において、中学校教諭一種の免許状を修得しようとする者は、教職課程科目の履修の他に、社会福祉施設と盲・聾・養護学校で、計 7 日以上「介護等体験実習」を行う必要があります。「介護等体験実習」とは、障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの人たちとの交流等の体験を指します。「介護等体験実習」の参加に際しては、実習費として1万円程度が必要になります。

また、「介護等体験実習」を終了した者は、施設長からの体験証明書を免許状の申請に添えて教育委員会に提出しなければなりません。

#### 4. 「教育実習A」および「教育実習B」の履修前提条件と実習期間について

##### 1. 履修前提条件について

4年次に実施される「教育実習A」、「教育実習B」を履修するには、条件が定められており、原則として、3年次までの「教職に関する科目」のうち下表に掲げる科目を全て修得しなければ、実習に行くことはできません。

「教育実習A」および「教育実習B」の履修に必要な科目一覧

学年	前 期	後 期
1 年	教職論 教育原理	教育社会学
2 年	教育心理学	教育方法論 教育課程論
3 年	教育実習指導(4年次と併せて1単位) 数学科教育法1(数学コース) 工業科教育法1(工業コース) 道徳教育の理論と実践 (数学コースの中学校教諭免許状修得希望者)	教育相談の理論と方法 数学科教育法2(数学コース) 工業科教育法2(工業コース) 特別支援教育の理論と指導方法 総合的な学習の時間の指導法

※4年次には、「教育実習A」、「教育実習B」のほかにも、履修する必要がある科目がありますので、注意してください。

##### 2. 実習期間について

免許状の種類により必要な教育実習期間が異なりますので、下記を参考にしてください。

- (1)高等学校一種免許状を修得しようとする者は、2週間の教育実習を必要とし「教育実習B」を履修しなければならない。
- (2)中学校一種免許状を修得しようとする者は、原則3週間の教育実習を必要とし「教育実習A」「教育実習B」の両科目を履修しなければならない。

## ■ 全学科共通(数学・工業共通)

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

「工業」(高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表1】 教員免許修得のための必修科目

科目(単位数)	対象学科	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2 単位) 「法学B」(2 単位)	全学科	計 4 単位	「日本国憲法」に 対応する科目
「健康科学演習A」(1 単位) 「健康科学演習B」(1 単位)		計 2 単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル3」(1 単位) 「英語スキル4」(1 単位) 「実践英語1」(1 単位) 「実践英語2」(1 単位)		左記科目の中 から計 2 単位	「外国語コミュニケーション」に 対応する科目
「機械工学基礎C」(2 単位)	機械工学科	計 2 単位	「情報機器の操作」に 対応する科目
「プログラミング1」(2 単位)	機械システム工学科		
「プログラミング1」(2 単位)	電気電子工学科		
「建築CAD1」(2 単位)	建築学科 (建築専攻) (インテリアデザイン専攻) (かおりデザイン専攻)		
「CAD演習2」(2 単位)	建築学科 (土木・環境専攻)		

※注1 教育職員免許法第 5 条別表第 1 備考第 4 号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則 66 条の 6 関係

## ■ 全学科共通(数学)

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表2-1】 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考		
	必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
第三欄	教職論	2		2									
	教育原理 ★	2		2									
	教育心理学 ★	2				2							
	教育社会学 ★	2			2								
	特別支援教育の理論と指導方法	2							2				
	教育課程論	2					2						
第四欄	道徳教育の理論と実践	2						2					中1種免許のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法	1							1				
	特別活動の理論と方法	2									2		
	教育方法論	2				2							
	生徒・進路指導論	2								2			
	教育相談の理論と方法	2							2				
第五欄	教育実習指導	1						1			1		
	教育実習A	2									2		中1種免許のみ必修
	教育実習B	2									2		
	教職実践演習(中等)	2										2	
合計	中学校教免	30		4	2	2	4	3	5	7	4		
	高校教免	26											

(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

## ■全学科共通(工業)

「工業」(高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表3-1】教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目		単位数		毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
		必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
第三欄	教職論	2		2									
	教育原理 ★	2		2									
	教育心理学 ★	2			2								
	教育社会学 ★	2			2								
	特別支援教育の理論と指導方法	2						2					
	教育課程論	2					2						
第四欄	総合的な学習の時間の指導法	1							1				
	特別活動の理論と方法	2									2		
	教育方法論	2					2						
	生徒・進路指導論	2								2			
	教育相談の理論と方法	2							2				
第五欄	教育実習指導	1						1		1			
	教育実習B	2								2			
	教職実践演習(中等)	2										2	
合計		26		4	2	2	4	1	5	5	4		

(注)1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

## ■ 機械工学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目  
ア. 中学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		免許法における科目区分		
線形代数1	2		2									代数学 幾何学 解析学	「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2							
解析学1	2		2	(2)										
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
応用解析1	2				2									
常微分方程式	2					2	(2)							
数理統計学1	2						2							「確率論、統計学」
機械設計製図1	2				4									コンピュータ
数学科教育法1	2						2					各教科の指導法	必修科目を含む 合計8単位以上 修得すること。	
数学科教育法2	2							2						
数学科教育法3	2								2					
数学科教育法4	2									2				
線形代数3		2							2			代数学		
代数系入門		2								2		代数学		
幾何学2		2						2				幾何学		
応用解析2	2					2						解析学		
応用解析3		2							2			解析学		
応用解析4		2								2		解析学		
数理統計学2		2						2				「確率論、統計学」		
機械設計製図2	2					4						コンピュータ		
シミュレーション工学		2					2					コンピュータ		
合計	32	14	4	4 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	6	6	6				

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目  
イ. 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		免許法における科目区分		
線形代数1	2		2									代数学 幾何学 解析学	「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2							
解析学1	2		2	(2)										
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
応用解析1	2				2									
常微分方程式	2					2	(2)							
数理統計学1	2						2							「確率論、統計学」
機械設計製図1	2				4									コンピュータ
数学科教育法1	2						2					各教科の指導法	必修科目を含む 合計16単位以上 修得すること。	
数学科教育法2	2							2						
線形代数3 ★		2							2					代数学
代数系入門 ★		2								2				代数学
幾何学2		2						2				幾何学		
応用解析2	2					2						解析学		
応用解析3		2							2			解析学		
応用解析4		2								2		解析学		
数理統計学2		2						2				「確率論、統計学」		
機械設計製図2	2					4						コンピュータ		
シミュレーション工学		2					2					コンピュータ		
合計	28	14	4	4 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	6	4	4				

(注) 1. ★印の科目のうち1科目2単位以上を含むこと。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
工学概論	2							2				
工業力学	2			2								
加工学基礎	2			2								
機械力学基礎	2				2							
材料力学基礎	2				2							
機械材料学基礎	2				2							
熱力学基礎	2					2						
流体力学基礎	2					2						
要素・機構設計学	2					2						
機械力学		2					2					
材料力学		2					2					
材料強度設計学		2							2			
応用機械工学A		2						2				
応用機械工学B		2							2			
自動車工学		2								2		
熱エネルギー工学		2						2				
熱移動工学		2							2			
流体力学1		2						2				
計測工学		2					2					
電気工学		2							2			
航空宇宙工学		2								2		
機械材料学		2					2					
機能材料工学		2						2				
機械加工学		2			2							
変形加工学		2				2						
溶融加工学		2					2					
表面加工学		2							2			
環境工学		2								2		
基礎機械製図	2			4								
応用設計演習1		2						2				
応用設計演習2		2							2			
数値計算法1		2						2				
数値計算法2		2							2			
機械製作実習1	2			4								
機械製作実習2	2				4							
機械工学実験1	2							4				
機械工学実験2	2								4			
品質管理		2								2		
工業経営論		2								2		
科学技術史と技術者倫理		2									2	
職業指導1	2									2		
職業指導2	2										2	
工業科教育法1	2							2				
工業科教育法2	2								2			
合計	36	52	0	12	12	16	22	20	12	4		

左記の科目中から  
必修科目を含む  
合計32単位以上  
修得すること。

## ■ 機械システム工学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目

ア. 中学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分			
線形代数1	2		2									代数学 幾何学 解析学	「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2							
解析学1	2		2	(2)										
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
応用解析1	2				2									
常微分方程式	2					2	(2)							
数理統計学1	2						2							「確率論、統計学」
デジタルエンジニアリング1	2				2									コンピュータ
数学科教育法1	2						2					各教科の指導法		
数学科教育法2	2							2						
数学科教育法3	2								2					
数学科教育法4	2									2				
線形代数3		2								2		代数学	必修科目を含む 合計8単位以上 修得すること。	
代数系入門		2									2			
幾何学2		2								2		幾何学		
応用解析2	2					2						解析学		
応用解析3		2								2				
応用解析4		2									2			
数理統計学2		2								2		「確率論、統計学」		
プログラミング2	2						2					コンピュータ		
デジタルエンジニアリング3B		2								2				
合計	32	14	4	4 (2)	6 (2)	4 (2)	8 (2)	8	6	6				

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考			
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分			
線形代数1	2		2									代数学 幾何学 解析学	「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2							
解析学1	2		2	(2)										
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
応用解析1	2				2									
常微分方程式	2					2	(2)							
数理統計学1	2						2							「確率論、統計学」
デジタルエンジニアリング1	2				2									コンピュータ
数学科教育法1	2						2					各教科の指導法		
数学科教育法2	2							2						
線形代数3 ★		2								2		代数学	必修科目を含む 合計16単位以上 修得すること。	
代数系入門 ★		2									2			
幾何学2		2								2		幾何学		
応用解析2	2					2						解析学		
応用解析3		2								2				
応用解析4		2									2			
数理統計学2		2								2		「確率論、統計学」		
プログラミング2	2						2					コンピュータ		
デジタルエンジニアリング3B		2								2				
合計	28	14	4	4 (2)	6 (4)	4 (2)	8 (2)	8	4	4				

(注) 1. ★印の科目のうち1科目2単位以上を含むこと。



【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
工学概論	2							2				
材料力学1	2				2							
材料力学2		2				2						
熱力学1	2				2							
熱力学2		2				2						
流体力学1	2					2						
流体力学2		2					2					
機械力学1	2					2						
機械力学2		2					2					
工業力学	2			2	(2)							
材料工学1		2					2					
材料工学2		2						2				
加工学1	2				2							
加工学2		2				2						
電気・電子工学1	2			2								
電気・電子工学2		2			2							
計測工学		2				2						
制御工学		2					2					
機械要素		2		2								
デジタルエンジニアリング入門	2		2									
デジタルエンジニアリング2		2				2						
デジタルエンジニアリング3A		2					2					
デジタルエンジニアリング4		2						2				
機械加工実習	2				4							
電気電子工学実習	2					4						
機械工学実験A	2						4					
機械工学実験B	2							4				
自動車工学		2							2			
流体システム工学		2						2				
メカトロニクス工学		2						2				
エンジン工学		2						2				
工業経営概論		2							2			
品質工学		2							2			
科学技術史論と技術者倫理		2								2		
ロボット工学		2						2				
機械製図	2			4								
創造製作演習	4		4									
センサ・アクチュエータ工学		2						2				
オートメーション工学		2							2			
コンピュータビジョン		2							2			
職業指導1	2								2			
職業指導2	2									2		
工業科教育法1	2							2				
工業科教育法2	2								2			
合計	40	50	6	10	12 (2)	18	24	16	10	4		

左記の科目中から  
必修科目を含む  
合計32単位以上  
修得すること。

# ■ 電気電子工学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目

ア. 中学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分	
線形代数1	2		2								代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修
線形代数2	2			2								
幾何学1	2						2				幾何学	
解析学1	2		2	(2)							解析学	
解析学2	2			2	(2)							
解析学3	2				2	(2)						
応用解析1	2				2							
常微分方程式	2					2	(2)					
数理統計学1	2						2				「確率論、統計学」	
プログラミング2	2			2							コンピュータ	
数学科教育法1	2						2				各教科の指導法	
数学科教育法2	2							2				
数学科教育法3	2								2			
数学科教育法4	2									2		
線形代数3		2							2		代数学	必修科目を含む 合計8単位以上 修得すること。
代数系入門		2								2		
幾何学2		2						2			幾何学	
応用解析2	2					2					解析学	
応用解析3		2							2			
応用解析4		2								2		
数理統計学2		2						2			「確率論、統計学」	
コンピュータ工学1		2				2					コンピュータ	
合計	30	14	4	6 (2)	4 (2)	6 (2)	6 (2)	6	6	6		

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分	
線形代数1	2		2								代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修
線形代数2	2			2								
幾何学1	2						2				幾何学	
解析学1	2		2	(2)							解析学	
解析学2	2			2	(2)							
解析学3	2				2	(2)						
応用解析1	2				2							
常微分方程式	2					2	(2)					
数理統計学1	2						2				「確率論、統計学」	
プログラミング2	2			2							コンピュータ	
数学科教育法1	2						2				各教科の指導法	
数学科教育法2	2							2				
線形代数3 ★		2							2		代数学	必修科目を含む 合計16単位以上 修得すること。
代数系入門 ★		2								2		
幾何学2		2						2			幾何学	
応用解析2	2					2					解析学	
応用解析3		2							2			
応用解析4		2								2		
数理統計学2		2						2			「確率論、統計学」	
コンピュータ工学1		2				2					コンピュータ	
合計	26	14	4	6 (2)	4 (2)	6 (2)	6 (2)	6	4	4		

(注) 1. ★印の科目のうち1科目2単位以上を含むこと。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	
電気回路理論1	2		2	[2]							
電気回路理論2	2			2	[2]						
電気回路理論3	2				2	[2]					
電気回路理論4		2				2					
電気回路理論演習		2							2		
電気磁気学1	2			2	[2]						
電気磁気学2	2				2	[2]					
電気磁気学3		2				2					
電気磁気学演習1		2				2					
電気磁気学演習2		2							2		
電子回路1	2				2	[2]					
電子回路2		2				2	[2]				
電気電子工学実験1	2				4						
電気電子工学実験2	2					4					
電気電子工学実験3	2						4				
電気電子工学実験4	2							4			
電気電子計測		2					2				
電気法規		2					2				
電気エネルギー発生工学		2			2						
エネルギー変換工学1		2				2					
エネルギー変換工学2		2					2				
エネルギー伝送工学		2						2			
パワーエレクトロニクス		2						2			
デジタル回路		2				2					
センサ工学		2					2				
制御工学1		2					2				
メカトロニクス		2					2				
コンピュータ工学2		2					2				
制御工学2		2						2			
電気電子材料		2				2					
電子物性1		2				2					
半導体デバイス工学1		2						2			
半導体デバイス工学2		2							2		
電気電子設計製図演習		2						2			
電気電子CAD演習		2							2		
工学概論	2						2				
職業指導1	2								2		
職業指導2	2									2	
工業科教育法1	2						2				
工業科教育法2	2							2			
合計	30	50	2	4 [2]	12 [4]	22 [6]	20 [2]	20	6	2	

左記の科目中から  
必修科目を含む  
合計32単位以上  
修得すること。

# ■ 建築学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表2-2】 教科及び教科の指導法に関する科目

中学校教諭一種免許状

注1)開講科目欄○印は、各専攻の開講科目を示す。

授業科目	開講科目				単位数		毎週授業時間数								免許法における科目区分	備考	
	建築専攻	インテリア専攻	土木・環境専攻	かおりデザイン専攻			1年次		2年次		3年次		4年次				
					必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
線形代数1	○	○	○	○	2		2									代数学	「免許法」で定められた最低 修得単位数 28単位必修
線形代数2	○	○	○	○	2			2								幾何学	
幾何学1	○	○	○	○	2						2					幾何学	
解析学1	○	○	○	○	2		2	(2)								解析学	
解析学2	○	○	○	○	2			2	(2)							解析学	
解析学3	○	○	○	○	2			2	(2)							解析学	
応用解析1	○	○	○	○	2			2								解析学	
常微分方程式	○	○	○	○	2				2	(2)						解析学	
数理統計学1	○	○	○	○	2						2					「確率論、統計学」	
建築CAD2	○	○		○	2				2							コンピュータ	
基礎情報処理A			○		2		2									各教科の指導法	
数学科教育法1	○	○	○	○	2					2						各教科の指導法	
数学科教育法2	○	○	○	○	2						2					各教科の指導法	
数学科教育法3	○	○	○	○	2							2				各教科の指導法	
数学科教育法4	○	○	○	○	2								2			各教科の指導法	
線形代数3	○	○	○	○		2							2		代数学	必修科目を含む合計8単位 以上修得すること。	
代数系入門	○	○	○	○		2							2		代数学		
幾何学2	○	○	○	○		2						2			幾何学		
応用解析2	○	○	○	○	2				2						解析学		
応用解析3	○	○	○	○		2							2		解析学		
応用解析4	○	○	○	○		2								2	解析学		
構造解析学			○			2			2						解析学		
数理統計学2	○	○	○	○		2						2			「確率論、統計学」		
建築統計処理	○	○		○		2					2				「確率論、統計学」		
情報リテラシ	○	○		○		1	2								コンピュータ		
建築プレゼンテーション演習	○	○		○		2					2				コンピュータ		
合計	建築専攻				30	17	6	4 (2)	4 (2)	6 (2)	10 (2)	6	6	6			
	インテリアデザイン専攻				30	17	6	4 (2)	4 (2)	6 (2)	10 (2)	6	6	6			
	土木・環境専攻				30	14	6	4 (2)	6 (2)	4 (2)	6 (2)	6	6	6			
	かおりデザイン専攻				30	17	6	4 (2)	4 (2)	6 (2)	10 (2)	6	6	6			

【表2-3】 教科及び教科の指導法に関する科目

高等学校教諭一種免許状

授業科目	開講科目				単位数		毎週授業時間数								免許法における科目区分	備考	
	建築専攻	インテリア専攻	土木・環境専攻	かおりデザイン専攻			1年次		2年次		3年次		4年次				
					必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
線形代数1	○	○	○	○	2		2									代数学	「免許法」で定められた最低 修得単位数 24単位必修
線形代数2	○	○	○	○	2			2									
幾何学1	○	○	○	○	2						2					幾何学	
解析学1	○	○	○	○	2		2	(2)								解析学	
解析学2	○	○	○	○	2			2	(2)								
解析学3	○	○	○	○	2				2	(2)							
応用解析1	○	○	○	○	2				2								
常微分方程式	○	○	○	○	2					2	(2)						
数理統計学1	○	○	○	○	2						2					「確率論、統計学」	
建築CAD2	○	○		○	2				2							コンピュータ	
基礎情報処理A			○		2		2										
数学科教育法1	○	○	○	○	2						2					各教科の指導法	
数学科教育法2	○	○	○	○	2							2					
線形代数3 ★	○	○	○	○		2							2			代数学	必修科目を含む合計16単 位以上修得すること。
代数系入門 ★	○	○	○	○		2								2			
幾何学2	○	○	○	○		2						2				幾何学	
応用解析2	○	○	○	○	2				2							解析学	
応用解析3	○	○	○	○		2							2				
応用解析4	○	○	○	○		2								2			
構造解析学			○			2			2								
数理統計学2	○	○	○	○		2						2				「確率論、統計学」	
建築統計処理	○	○		○		2					2						
情報リテラシ	○	○		○		1	2									コンピュータ	
建築プレゼンテーション演習	○	○		○		2						2					
合計	建築専攻				26	17	6	4 (2)	4 (2)	6 (2)	10 (2)	6	4	4			
	インテリアデザイン専攻				26	17	6	4 (2)	4 (2)	6 (2)	10 (2)	6	4	4			
	土木・環境専攻				26	14	6	4 (2)	6 (2)	4 (2)	6 (2)	6	4	4			
	かおりデザイン専攻				26	17	6	4 (2)	4 (2)	6 (2)	10 (2)	6	4	4			

(注) 1. ★印の科目のうち1科目2単位以上を含むこと。

注1) 開講科目欄○印は、各専攻の開講科目を示す。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目(建築専攻)

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
建築計画1	2			2								
建築計画2	2				2							
力と形演習	2		2									
構造力学1	2			2								
構造力学2	2				2							
建築構法	2			2								
建築材料	2				2							
建築環境材料		2				2						
建築法規	2								2			
建築・インテリア図法実習1		2	4									
建築・インテリア図法実習2		2		4								
建築デザイン基礎実習		2		4								
建築設計1	3				4							
建築設計2	3					4						
建築設計3	3						4					
造形基礎実習		2	4									
建築遺産A	2				2							
建築遺産B	2					2						
環境工学1	2				2							
環境工学2	2					2						
環境工学3	2						2					
建築設備	2								2			
建築の仕組み		2	2									
コンクリート系構造	2					2						
鋼構造	2						2					
インターンシップ(学外研修)		2							2			
空間文化論	2						2					
行動空間学	2							2				
建築企画論	2								2			
都市計画	2									2		
まちづくり論	2									2		
建築デザイン論	2								2			
建築設計4	3								4			
建築設計5	3									4		
建築デザイン史	2							2				
力とデザイン	2								2			
構造設計演習	2									2		
維持・保全工学	2								2			
建築生産1	2				2							
建築生産2	2					2						
建築測量学同実習	2									4		
環境心理学	2							2				
環境評価演習	2								2			
振動と塑性解析	2							2				
鉄筋コンクリート構造演習	2							2				
インテリア計画1		2		2								インテリアデザイン専攻開講科目
インテリア計画2		2			2							インテリアデザイン専攻開講科目
工学概論	2							2				
職業指導1	2									2		
職業指導2	2										2	
工業科教育法1	2							2				
工業科教育法2	2								2			
合計	51	64	14	18	20	16	22	22	16	2		

左記の科目中から  
必修科目を含む  
合計32単位以上  
修得すること。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目(インテリアデザイン専攻)

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
インテリア計画1	2			2								
インテリア計画2	2				2							
力と形演習	2		2									
構造力学1	2			2								
構造力学2	2				2							
建築構法	2			2								
建築材料	2				2							
建築環境材料		2				2						
建築法規	2							2				
建築・インテリア図法実習1		2	4									
建築・インテリア図法実習2		2		4								
インテリアデザイン基礎実習	2			4								
造形基礎実習	2		4									
インテリアエレメント演習1		2				2						
インテリアエレメント演習2		2					2					
デザインマネジメント演習1		2			2							
デザインマネジメント演習2		2						2				
インテリア設計1	3				4							
インテリア設計2	3					4						
インテリア設計3	3						4					
建築遺産A	2				2							
建築遺産B	2					2						
環境工学1	2				2							
環境工学2	2					2						
環境工学3	2						2					
建築設備	2							2				
建築の仕組み	2		2									
インターンシップ(学外研修)		2						2				
空間文化論		2				2						
行動空間学		2					2					
建築企画論		2						2				
都市計画		2							2			
まちづくり論		2							2			
建築デザイン論		2						2				
インテリア設計4	3							4				
建築デザイン史	2						2					
維持・保全工学	2							2				
建築生産1	2				2							
建築生産2	2					2						
建築測量学同実習	2								4			
環境心理学	2							2				
環境評価演習		2							2			
建築計画1		2		2								建築専攻開講科目
建築計画2		2			2							建築専攻開講科目
工学概論	2							2				
職業指導1	2								2			
職業指導2	2									2		
工業科教育法1	2							2				
工業科教育法2	2								2			
合計	53	55	14	18	22	16	20	20	10	2		

左記の科目中から  
必修科目を含む  
合計32単位以上  
修得すること。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目(土木・環境専攻)

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
材料と構造	2		2	[2]								
土木構造力学	2			2								
環境生態学同実習		2			2							
土地地質学		2					2					
土木材料学		2					2					
地盤工学2	2				2							
地盤工学3		2					2					
計画数理	2			2								
構造設計学基礎		2					2					
水理・地盤工学基礎		2	2									
流れ学1	2				2							
流れ学2		2					2					
流れ学3		2						2				
都市環境プランニング		2			2							
都市環境プロジェクト実習		2		4								
社会基盤設計	3		4									
ランドスケープ設計		3					4					
ビオトープ設計		3					4					
測量学1	2				2							
測量実習	2				4							
測量学2		2					2					
構造設計学A		2						2				
構造設計学B		2							2			
地盤環境工学		2						2				
地盤設計技術		2							2			
防災論		2							2			
維持管理工学		2						2				
地域・都市計画		2					2					
環境調査法同実験		2						4				
流域環境学		2		2								
都市衛生工学		2			2							
交通計画		2			2							
輸送システム		2				2						
土木施工1		2						2				
土木施工2		2							2			
道路工学		2						2				
環境マネジメント		2				2						
まちづくり関係法規		2						2				
まちづくりデザイン実習		2						4				
環境アセスメント		2						2				
インターンシップ(学外研修)		2							2			
道路空間設計		3							4			
技術者倫理	2								2			
工学概論	2							2				
職業指導1	2								2			
職業指導2	2									2		
工業科教育法1	2							2				
工業科教育法2	2								2			
合計	29	87	8	16	24	26	30	20	2	2		

左記の科目中から  
必修科目を含む  
合計32単位以上  
修得すること。



【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目(かおりデザイン専攻)

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
インテリア計画1	2			2								
インテリア計画2	2				2							
力と形演習	2		2									
構造力学1	2			2								
構造力学2	2				2							
建築構法	2			2								
建築材料	2				2							
建築環境材料		2				2						
建築法規	2							2				
建築・インテリア図法実習1		2	4									
建築・インテリア図法実習2		2		4								
インテリアデザイン基礎実習	2			4								
造形基礎実習	2		4									
インテリアエレメント演習1		2				2						
インテリアエレメント演習2		2					2					
デザインマネジメント演習1		2			2							
デザインマネジメント演習2		2					2					
インテリア設計1	3				4							
インテリア設計2	3					4						
インテリア設計3	3						4					
建築遺産A	2				2							
建築遺産B	2					2						
環境工学1	2				2							
環境工学2	2					2						
環境工学3	2						2					
建築設備	2							2				
建築の仕組み	2		2									
インターンシップ(学外研修)		2						2				
空間文化論	2					2						
行動空間学	2						2					
建築企画論	2							2				
都市計画	2								2			
まちづくり論	2								2			
建築デザイン論	2							2				
インテリア設計4	3							4				
建築デザイン史	2						2					
維持・保全工学	2							2				
建築生産1	2			2								
建築生産2	2				2							
建築測量学同実習	2								4			
環境心理学	2						2					
環境評価演習	2							2				
建築計画1		2		2								建築専攻開講科目
建築計画2		2			2							建築専攻開講科目
工学概論	2						2					
職業指導1	2								2			
職業指導2	2									2		
工業科教育法1	2						2					
工業科教育法2	2							2				
合計	53	55	14	18	22	16	20	20	10	2		

# 教職課程

## 1. 教職課程について

卒業後、教育職員を志望するものは、「教育職員免許法」に定める教育職員免許状を取得する必要があります。そのためには、卒業に必要な所定の単位を修得するとともに、所要条件を満たし、かつ所定の単位修得し、申請することが必要になります。

## 2. 修得できる免許状について

教職課程を履修し、卒業と同時に申請し修得できる免許状は、下記のとおりです。

コース	免許状の種類	免許教科	対象学科
数学コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学	情報システム学科
情報コース	高等学校教諭一種免許状	情報	情報システム学科

## 3. 教職課程の科目区分・必要単位数

教職課程科目は、【教員免許修得のための必修科目】【教育の基礎的理解に関する科目等】【教科及び教科の指導法に関する科目】に大別され、それぞれの必要単位数は、下記のとおりになります。

教職課程科目の科目区分と必要単位数

(数字は単位数)

コース	教員免許修得のための必修科目 (教育職員免許法施行規則第66条の6)	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科及び教科の指 導法に関する科目
数学コース	10単位 【表1】	中学 30単位※ 【表2-1】	中学 36単位 【表2-2】
		高校 26単位 【表2-1】	高校 40単位 【表2-3】
情報コース		高校 26単位 【表3-1】	高校 40単位 【表3-2】

※「数学コース」履修者において、中学校教諭一種の免許状を修得しようとする者は、教職課程科目の履修の他に、社会福祉施設と盲・聾・養護学校で、計 7 日以上「介護等体験実習」を行う必要があります。「介護等体験実習」とは、障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの人たちとの交流等の体験を指します。「介護等体験実習」の参加に際しては、実習費として1万円が必要になります。

また、「介護等体験実習」を終了した者は、施設長からの体験証明書を免許状の申請に添えて教育委員会に提出しなければなりません。

#### 4. 「教育実習A」および「教育実習B」の履修前提条件と実習期間について

##### 1. 履修前提条件について

4年次に実施される「教育実習A」、「教育実習B」を履修するには、条件が定められており、原則として、3年次までの「教職に関する科目」のうち下表に掲げる科目を全て修得しなければ、実習に行くことはできません。

「教育実習A」および「教育実習B」の履修に必要な科目一覧

学年	前 期	後 期
1 年	教職論 教育原理	教育社会学
2 年	教育心理学	教育方法論 教育課程論
3 年	教育実習指導(4年次と併せて1単位) 数学科教育法1(数学コース) 情報科教育法1(情報コース) 道徳教育の理論と実践 (数学コースの中学校教諭免許状修得希望者)	教育相談の理論と方法 数学科教育法2(数学コース) 情報科教育法2(情報コース) 特別支援教育の理論と指導方法 総合的な学習の時間の指導法

※4年次には、「教育実習A」、「教育実習B」のほかにも、履修する必要のある科目がありますので、注意してください。

##### 2. 実習期間について

免許状の種類により必要な教育実習期間が異なりますので、下記を参考にしてください。

- (1)高等学校一種免許状を修得しようとする者は、2週間の教育実習を必要とし「教育実習B」を履修しなければならない。
- (2)中学校一種免許状を修得しようとする者は、原則3週間の教育実習を必要とし「教育実習A」「教育実習B」の両科目を履修しなければならない。

## ■ 情報システム学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目

教職課程 20生対象

【表1】 教員免許修得のための必修科目

科目(単位数)	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2 単位) 「法学B」(2 単位)	計 4 単位	「日本国憲法」に対応する科目
「健康科学演習A」(1 単位) 「健康科学演習B」(1 単位)	計 2 単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル3」(1 単位) 「英語スキル4」(1 単位) 「実践英語1」(1 単位) 「実践英語2」(1 単位)	左記科目の中から 計 2 単位	「外国語コミュニケーション」に 対応する科目
「プログラミング入門」(2 単位)	計 2 単位	「情報機器の操作」に対応する科目

※注1 教育職員免許法第5条別表第1備考第4号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則66条の6関係

【表2-1】 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考										
			1年次		2年次		3年次		4年次												
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期											
第三欄	教職論	2		2																	
	教育原理 ★	2		2																	
	教育心理学 ★	2				2															
	教育社会学 ★	2			2																
	特別支援教育の理論と指導方法	2										2									
	教育課程論	2					2														
第四欄	道徳教育の理論と実践	2								2											中1種免許のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法	1										1									
	特別活動の理論と方法	2																			2
	教育方法論	2					2														
	生徒・進路指導論	2																			2
	教育相談の理論と方法	2											2								
第五欄	教育実習指導	1								1											
	教育実習A	2																			2
	教育実習B	2																			2
	教職実践演習(中等)	2																			2
合計	中学校教免	30			4	2	2	4	3	5	7	4									
	高校教免	26																			

(注)1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目

ア. 中学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								免許法における科目区分	備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期				
線形代数1	2		2									代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2							幾何学 解析学
解析学1	2		2	(2)										
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
常微分方程式	2					2	(2)							
応用解析1	2				2									
確率・統計	2				2									
プログラミング1	2			2	(2)									コンピュータ
数学科教育法1	2						2					各教科の指導法		
数学科教育法2	2							2						
数学科教育法3	2								2					
数学科教育法4	2									2				
線形代数3		2			2							代数学	必修1科目2単位を含む合計4科目8単位以上修得すること。	
代数系入門		2									2			
幾何学2		2							2			幾何学 解析学		
応用解析2	2					2								
応用解析3		2							2					
応用解析4		2								2				
数理統計学2		2							2			「確率論、統計学」		
情報統計学		2				2						コンピュータ		
数値計算法		2						2						
情報理論		2				2								
オートマトン・言語理論		2				2								
合計	30	20	4	6 (2)	8 (4)	10 (2)	4 (2)	8	4	6				

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								免許法における科目区分	備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次					
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期				
線形代数1	2		2									代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修	
線形代数2	2			2										
幾何学1	2						2							幾何学 解析学
解析学1	2		2	(2)										
解析学2	2			2	(2)									
解析学3	2				2	(2)								
常微分方程式	2					2	(2)							
応用解析1	2				2									
確率・統計	2				2									
プログラミング1	2			2	(2)									コンピュータ
数学科教育法1	2						2					各教科の指導法		
数学科教育法2	2							2						
線形代数3		2			2							代数学	必修1科目2単位を含む合計8科目16単位以上修得すること。	
代数系入門		2									2			
幾何学2		2							2			幾何学 解析学		
応用解析2	2					2								
応用解析3		2							2					
応用解析4		2								2				
数理統計学2		2							2			「確率論、統計学」		
情報統計学		2				2						コンピュータ		
数値計算法		2						2						
情報理論		2				2								
オートマトン・言語理論		2				2								
合計	26	20	4	6 (2)	8 (4)	10 (2)	4 (2)	8	2	4				

【表1】 教員免許修得のための必修科目

科目(単位数)	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2単位) 「法学B」(2単位)	計4単位	「日本国憲法」に対応する科目
「健康科学演習A」(1単位) 「健康科学演習B」(1単位)	計2単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル3」(1単位) 「英語スキル4」(1単位) 「実践英語1」(1単位) 「実践英語2」(1単位)	左記科目の中から 計2単位	「外国語コミュニケーション」に 対応する科目
「プログラミング入門」(2単位)	計2単位	「情報機器の操作」に対応する科目

※注1 教育職員免許法第5条別表第1備考第4号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則66条の6関係

【表3-1】 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期		
第三欄 教職論 教育原理 ★ 教育心理学 ★ 教育社会学 ★ 特別支援教育の理論と指導方法 教育課程論	2		2									
	2		2									
	2			2								
	2			2				2				
	2					2						
第四欄 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の理論と方法 教育方法論 生徒・進路指導論 教育相談の理論と方法	1							1				
	2						2				2	
	2									2		
	2							2				
第五欄 教育実習指導 教育実習B 教職実践演習(中等)	1							1		1		
	2									2		
	2										2	
合計	26		4	2	2	4	1	5	5	4		

(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

【表3-2】 教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考		
			1年次		2年次		3年次		4年次			免許法における 科目区分	
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期			
知的財産権論		2									2	情報社会と 情報倫理	左記の科目中 から必修科目 を含む合計36 単位以上修得 すること。
情報化社会と情報倫理	2									2			
プログラミング2	2				2	(2)						コンピュータ 及び情報処理	
コンピュータアーキテクチャ1	2				2								
コンピュータアーキテクチャ2		2				2							
アルゴリズムとデータ構造1	2					2							
アルゴリズムとデータ構造2		2					2						
情報演習D	4						4	(4)					
コンパイル構成法		2						2					
デジタル回路		2						2					
コンピュータセンシング		2						2					
オブジェクト指向プログラミング		2							2				
オペレーティングシステム	2				2							情報システム	
ソフトウェア工学		2						2					
データベース	2								2				
リアルタイムシステム		2								2			
分散処理		2								2			
情報ネットワーク概論	2			2								情報通信 ネットワーク	
情報ネットワーク1	2				2								
ネットワークプログラミング		2							2				
通信工学		2								2			
ネットワークシステム		2						2					
音声画像処理		2							2			マルチメディア 表現及び技術	
情報演習C	4						4	(4)					
CAD	2									2			
情報化社会と職業	2									2		情報と職業	
情報科教育法1	2							2				各教科の指導法	
情報科教育法2	2								2				
合計	32	28		2	8	4 (2)	22	10 (8)	8	6			